

第3章 復旧・復興10年の取組

第1章 被災状況
東日本大震災の被災状況

第2章 貞山運河の河川管理施設復旧工法

第3章 復旧・復興10年の取組

第4章 災害復旧事業の完成と真

第5章 貞山運河再生復興会議開催状況

第6章 再生・復興に向けた様々な取組

平成 23(2011)年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震及びそれに伴う大津波は、本県の沿岸域を内陸奥深くまで広範囲に浸水させ、本県だけで一万人を超える方が亡くなられるなど、大きな被害をもたらしました。津波浸水域の市街地は壊滅的な被害を受け、海岸堤防や道路といった公共土木施設が甚大な被害を受けた中、運河群についても例外ではなく、堤防や護岸が大きく被災し、津波の引き波で集められた瓦礫で埋没しました。

沿岸地域で行われる様々な主体による復興事業が、防災機能を有する歴史的な土木遺産である「運河群」を基軸として相互に連携し合い、一つのグランドデザインに沿って実施されることで、安全、安心で、より魅力的な沿岸地域を形成する機会となり得ると考えられます。

そこで県では、平成 25(2013)年 5 月に「貞山運河再生・復興ビジョン」を策定し、運河群が縦断する仙台湾沿岸地域の復興において目標とする姿や、それを実現するための仕組みについて示し、様々な主体が共通理解の下に連携し、宮城県が復興のシンボルと誇れる運河群として再構築を図ることを理念とし、調和を持った復興事業の推進を進めてきました。

「貞山運河再生・復興ビジョン」における多様な主体が参画し、沿岸地域の再生・復興の推進に取り組んできました。

本章では、各事業主体の震災後 10 年間の取組をまとめました。



図3.1 「貞山運河再生・復興ビジョン」における基本目標・推進体制・具体施策の体系図

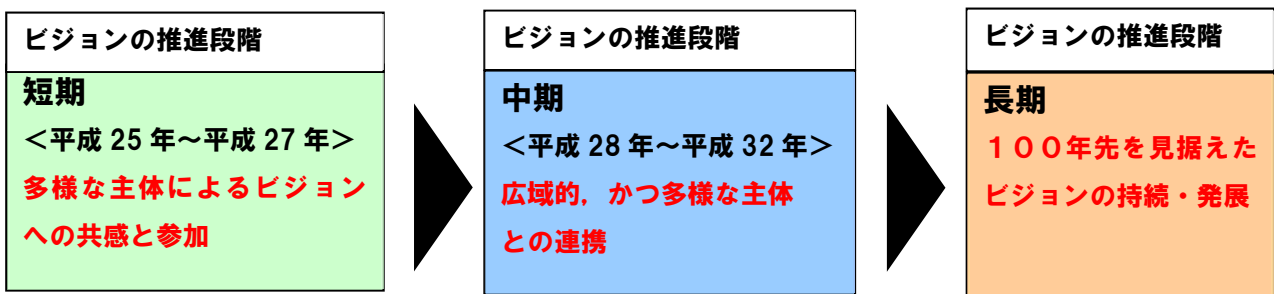


図3.2 「貞山運河再生・復興ビジョン」における目標とする期間

国土交通省東北地方整備局河川部

復旧・復興カレンダー

平成23年6月 「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」

平成23年12月 河口部堤防高(案)の提示

平成24年8月 河川整備学識者懇談会の開催



東北地方太平洋沖地震とそれに伴う津波による被災を受け、河川整備計画を変更し、必要な対策を追加。平成24年11月に変更。

平成25年1月～ 河口部堤防復旧事業着手



平成29年3月 閉上水門 完成



平成29年3月 新浜水門 完成



平成23年4月

平成24年4月

平成25年4月

平成26年4月

平成27年4月

平成28年4月

平成29年4月

平成30年4月

平成31年4月

令和2年4月

令和3年3月

平成24年2月～ 堤防計画の説明

土地立ち入り前に、堤防設計の為の測量着手の報告、今後のスケジュール等について説明。

平成24年4月～ 堤防計画の説明

土地立ち入り後に、計画中の堤防設計について各町内会(各地区)単位で説明。



平成26年3月 閉上水門災害復旧工事 着手

平成26年6月 新浜水門災害復旧工事 着手

平成27年12月 閉上地区かわまちづくり計画登録

名取市閉上地区の復興再建を支援する、かわまちづくりの登録と河川防災ステーションの計画の承認を報告



平成29年3月 阿武隈川河口部復旧・復興事業完成式



令和3年3月 名取川 閉上地区河川防災ステーション 完成



資材備蓄スペース

水防作業スペース 建設機械活動スペース

防災ヘリポート

第1章 東日本大震災の被害状況

第2章 貞山運河の河川管理施設復旧工法

第3章 復旧・復興 10年の取組

第4章 災害復旧事業の完成写真

第5章 貞山運河再生復興 会議開催状況

第6章 再生・復興に向けた様々な取組

国土交通省東北地方整備局港湾空港部 港湾計画課

復旧・復興カレンダー

平成24年1月13日 高砂2号岸壁供用再開

平成24年1月22日 北米航路再開

被災した高砂2号岸壁の供用が再開された。また、震災以降休止されていた北米航路が再開された。



平成25年度 仙台塩釜港災害復旧事業完了

仙台塩釜港において、被災した岸壁の復旧工事や沈下した防波堤の嵩上げ工事が完了した。
(左:雷神ふ頭復旧・利用状況 右:沖防波堤完成状況)



平成27年度～平成28年度 外資コンテナ航路新規開設

平成27年度から平成28年度にかけて、北米西岸航路や韓国航路、ロシア極東航路などが新規開設され、外資コンテナ定期航路数が過去最高の9航路になった。
(写真は平成28年4月の仙台-韓国航路開設時の接岸状況及び歓迎セレモニー状況)



平成30年6月9日

仙台塩釜港同洋地区ふ頭再編改良事業着工

国土交通省・宮城県主催により着工式を開催。増加するコンテナ需要に対して、現状のコンテナターミナルが手狭になっていることや増加するコンテナ船の入港に対応するための岸壁延伸、ふ頭用地拡張及びガントリークレーンの新設工事を開始した。



平成23年8月5日 石巻港復興会議

平成23年8月8日 仙台塩釜港復興会議

国、宮城県、港湾所在市・町並びに港湾利用者からなる復興会議において、今後の取組方針について検討を進め、平成23年8月5日の第3回石巻港復興会議及び8月8日の第3回仙台塩釜港復興会議において、復旧・復興方針(産業・物流復興プラン)が取りまとめられた。

平成24年10月17日

仙台塩釜港、石巻港、松島港の統合

震災からの復旧・復興を図る上で、各港の機能の分担・強化により、国際海上貨物輸送網における拠点性を高め、後背地の産業を含めた迅速な復興につなげることを目的に、スケールメリットを生かした効果的で効率的な港湾の整備、管理及び運営を実現するため3港を統合し、統合後の港湾を「仙台塩釜港」として国際拠点港湾に位置づけた。

平成24年12月20日 東日本大震災パネル展開催

仙台塩釜港の被災直後の状況や、これまでの復旧・復興の取組み、海洋環境再生への取組などについてパネル展を開催した。



平成29年4月29日

セブリティ・ミレニアムが仙台塩釜港(仙台区)に初寄港

仙台塩釜港として過去最大の外国クルーズ船「セブリティ・ミレニアム」が初寄港。当日は船内見学会や物産展などが開催された。



令和3年度以降

仙台塩釜港の充実強化に向けた事業の推進

仙台区では機能拡充を図るためふ頭再編改良事業を進めている。また、石巻港区では船舶の安全な航行を確保するため防波堤の整備を進めている。



平成23年
4月

平成24年
4月

平成25年
4月

平成26年
4月

平成27年
4月

平成28年
4月

平成29年
4月

平成30年
4月

平成31年
4月

令和2年
4月

令和3年
3月

第1章 東日本大震災の被害状況

第2章 貞山運河の河川管理施設復旧工法

第3章 復旧・復興10年の取組

第4章 災害復旧事業の完成写真

第5章 貞山運河再生復興会議開催状況

第6章 再生・復興に向けた様々な取組

林野庁東北森林管理局総務企画部 企画調整課

復旧・復興カレンダー

平成23年7月16日 東松島市において応急対策に着手

地震により地盤沈下したことで隣接する住宅地等が冠水する被害が発生したため、大型土のうを設置し海水を締め切るとともに、がれき撤去も併せて実施しました。

同様に、仙台市、岩沼市でも応急対策を実施しました。



平成23年10月1日 海岸防災林復旧対策室、海岸防災林復旧対策事務所を設置

海岸防災林復旧事業を円滑に進めるため、仙台森林管理署に海岸防災林復旧対策室、宮城北部森林管理署に海岸防災林復旧対策事務所を設置しました。

平成24年11月4日 「みどりのきずな」再生植樹式を開催

生育基盤盛土工が完了した仙台市若林区荒浜の国有林において、地域住民、関係機関、NPO等の多くの方々の協力のもと抵抗性クロマツなど2,200本を植樹しました。

以降も盛土工が完了したエリアから順次、植栽を進めました。



平成26年5月25日 海岸防災林造成の植栽樹種・方法に関する実証試験を開始

従来のクロマツを主体とした植栽に加え、生物多様性保全等の観点から、クロマツ成長後の下層や内陸部への広葉樹の導入を図るため、岩沼市寺島地内において、広葉樹等の多様な樹種による植栽の実証試験を開始しました。



平成31年1月24日 第9回仙台湾沿岸海岸防災林生物多様性保全対策検討委員会を開催

本委員会で検討された、生物多様性保全対策について、当初予定していた事後モニタリングや保全対策評価まで進んだことから、最後の検討委員会を開催しました。



令和3年2月5日 仙台湾沿岸地区民有林直轄治山事業完了に伴う事業引継式を開催

仙台湾沿岸海岸防災林のうち、民有林については、県に移管することになるため、県庁において、県への事業引継式を開催しました。



平成23年
4月

平成24年
4月

平成25年
4月

平成26年
4月

平成27年
4月

平成28年
4月

平成29年
4月

平成30年
4月

平成31年
4月

令和2年
4月

令和3年
3月

平成23年8月29日 宮城県知事から国による直轄事業での実施要請を受理

仙台湾沿岸海岸防災林の復旧は、約1,100haと大規模なことから、民有林の復旧については国の直轄事業として実施するよう宮城県知事からの強い要請を受け、民有林と国有林の一体的な復旧を図ることで事業の早期完了を目指すこととしました。

仙台地区の生育基盤盛土工に着手

5月12日仙台地区において着手して以降、名取地区、岩沼地区、矢本海岸、矢本西地区、浜市地区、野蒜地区、長面地区の生育基盤盛土工に順次着手しました。



平成25年3月17日 第1回仙台湾沿岸海岸防災林生物多様性保全対策検討委員会を開催

海岸防災林の区域には、動植物の生息・生育の回復等も見られることから、防災機能を確保しつつ、生物多様性の保全を図ることを目的に検討委員会を開催し、各分野の有識者の方から意見を聞きながら検討を進めてきました。



平成26年9月19日 東松島エリアにおいて環境調査に着手

事業地内において、希少な動植物が確認されたため、可能な限り保護することを目的に環境調査を実施しました。調査結果を踏まえ、希少植物が群生している箇所や猛禽類の営巣木及び周辺のクロマツを保存するため、盛土を行わないなど生物多様性に配慮しました。



平成31年3月14日 長面地区において生育基盤盛土工が完了

平成24年5月から順次着手しました生育基盤盛土工は、本地区の完了により、全ての地区で完了しました。



令和3年1月22日 矢本西地区の植栽工が完了

平成24年11月から順次着手しました植栽工は、本地区の完了により全ての地区で完了しました。



第1章 東日本大震災の被害状況

第2章 貞山運河の河川管理施設復旧工法

第3章 復旧・復興 10年の取組

第4章 災害復旧事業の完成写真

第5章 貞山運河再生復興 会議開催状況

第6章 再生・復興に向けた様々な取組

宮城県土木部 仙台土木事務所

復旧・復興カレンダー

平成27年3月21日 貞山運河「桜」植樹会を開催
～復興・そして未来へ～in仙台港多賀城緩衝緑地公園



仙台港多賀城緩衝緑地公園を会場に佐野藤右衛門氏から寄贈された祇園枝垂桜の記念植樹と記念碑の除幕を行いました。

平成28年3月19日 貞山運河「桜」植樹会を開催
～復興・そして未来へ～in多賀城貞山公園



多賀城市貞山公園を会場に桜植樹を開催しました。

平成30年5月21日 七北田川水系南貞山運河
河川災害復旧工事の完成 仙台市宮城野区蒲生地内



南貞山運河河川災害復旧事業の一部区間(L=1.8km区間)が完成しました。引き続き、他区間の災害復旧工事を進めています。

平成31年3月22日 一級河川阿武隈川水系五間堀川
河川災害復旧事業の完了 岩沼市寺島地内

五間堀川河川災害復旧工事が完成しました。この工事の完成により平成23年度から進めてきたL=7.5kmの五間堀川河川災害復旧事業が完了しました。



10月23日 一級河川名取川水系北貞山運河

北貞山運河河川災害復旧事業の完了 仙台市若林区藤塚地内

北貞山運河河川災害復旧工事(その2)のL=4.5kmが完成しました。この工事の完成により平成26年度から進めてきたL=5.0kmの北貞山運河河川災害復旧事業が完了しました。



3月23日 一級河川名取川水系南貞山運河

南貞山運河災害復旧事業の完了 名取市下増田地内



南貞山運河河川災害復旧工事L=154mが完成しました。この工事の完成により平成25年度から進めてきたL=4,895mの南貞山運河河川災害復旧事業が完了しました。

平成26年3月21日 貞山運河「桜」植樹会を開催
～復興・そして未来へ～in岩沼海浜緑地公園(南ブロック)



小林製薬(株)様と県の主催で岩沼海浜緑地(南ブロック)にて桜の植樹会を開催しました。

平成29年2月22日

五間堀川河川災害復旧工事(その5)の完成



平成30年3月17日 貞山運河「桜」植樹会を開催

～復興・そして未来へ～in岩沼海浜緑地公園(北ブロック)



岩沼海浜緑地(北ブロック)にて桜の植樹会を実施し、寄附提供者やボランティア、地元町内会の方々と55本の桜を植樹しました。

平成30年9月4日 二級河川砂押川水系砂押川外2河川
河川災害復旧事業の完了 多賀城市大代地内



砂押川外2河川河川災害復旧工事L=40mが完成しました。この工事の完成により平成23年度から進めてきたL=3,570mの砂押川外2河川河川災害復旧事業が完了しました。

令和2年3月19日 一級河川名取川水系中貞山運河
中貞山運河河川災害復旧事業の完了 名取市関上地内外



中貞山運河河川災害復旧工事L=259mが完成しました。この工事の完成により平成25年度から進めてきたL=1.6kmの中貞山運河河川災害復旧事業が完了しました。

3月20日 北貞山運河・南貞山運河への桜の植樹

仙台市若林区荒浜地内

イベントは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止としましたが、災害復旧事業が完了した北貞山運河、及び南貞山運河沿いに桜を植樹しました。



平成23年
4月

平成24年
4月

平成25年
4月

平成26年
4月

平成27年
4月

平成28年
4月

平成29年
4月

平成30年
4月

平成31年
4月

令和2年
4月

令和3年
3月

第1章 東日本大震災の被害状況

第2章 貞山運河の河川管理施設復旧工法

第3章 復旧・復興10年の取組

第4章 災害復旧事業の完成写真

第5章 貞山運河再生復興会議開催状況

第6章 再生・復興に向けた様々な取組

宮城県土木部 東部土木事務所

復旧・復興カレンダー

平成25年4月9日
北上運河災害復旧工事に着工

平成26年3月21日
南北上運河災害復旧工事に着工
平成26年6月17日
東名運河災害復旧工事に着工

平成26年12月17日
北北上運河災害復旧工事に着工

平成28年10月15日
北上運河災害復旧工事が完成



北上運河の河川災害復旧工事が完成したことから竣工式を開催しました。竣工式には根本国土交通大臣政務官、国会議員6名など多くの来賓の方に参加をいただきました。

平成31年1月16日
北北上運河河川災害復旧が完成



平成27年度から工事着手した北北上運河河川災害復旧事業が完了しました。事業の中で復旧した釜開門整備事業が全建賞を受賞しました。

令和元年8月30日
北上運河河川災害復旧が完成



平成27年度から工事着手した北上運河河川災害復旧事業が完了しました。

令和元年11月10日
東名運河災害復旧工事が完成



東名運河の東名水門で緊急時の自動水門閉鎖システムが運用を開始しました。現地での操作が不要となることから、安全かつ迅速・確実な水門閉鎖することが可能となりました。

平成23年
4月

平成24年
4月

平成25年
4月

平成26年
4月

平成27年
4月

平成28年
4月

平成29年
4月

平成30年
4月

平成31年
4月

令和2年
4月

令和3年
3月

平成26年1月15日
北上運河災害復旧工事で安全祈願祭を開催



南北上運河河川災害復旧工事(その2)工事が着工となったことから、工事の安全祈願祭が開催されました。

平成27年4月23日
南北上運河外災害復旧工事で安全祈願祭を開催



南北上運河と北北上運河の災害復旧を実施する工事で本格着手することから工事の安全祈願祭を開催しました。

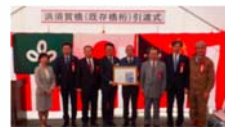
平成28年2月5日
北北上運河の釜開門で現場見学会を開催



釜開門は、明治・大正期に作られた歴史ある開門で復旧工事のため仮締め切りにより、川底まで確認できる状況になったことから、現場見学会を開催しました。

平成28年11月21日
南北上運河の既存橋桁をパプアニューギニアへ寄贈

南北上運河にある浜須賀橋の既設桁をパプアニューギニア独立国で再利用してもらうために寄贈しました。



平成29年3月18日
北上運河で桜の植樹祭を開催



震災からの復興の象徴、津波防災意識の醸成などを目的に北上運河で桜植樹祭を開催しました。当日はボランティアや地域の方々などの協力を得て143本を植樹しました。

平成30年10月26日～27日
県内で全国運河サミットが開催



みやぎの誇る日本一長い運河群(北上運河、東名運河、貞山運河)の歴史を学び、震災からの復興支援を感謝するため、県内で『全国運河サミットinみやぎ』が開催されました。

第1章
被災状況
東日本大震災の
被災状況

第2章
管理施設復旧工法
貞山運河の河川
管理施設復旧工法

第3章
10年の取組
復旧・復興
10年の取組

第4章
完成写真
災害復旧事業の
完成写真

第5章
会議開催状況
貞山運河再生復興
会議開催状況

第6章
様々な取組
再生・復興に向けた
様々な取組

木曳堀(岩沼市, 名取市)

第1章 東日本大震災の被害状況

第2章 貞山運河の河川管理施設復旧工法

第3章 復旧・復興10年の取組

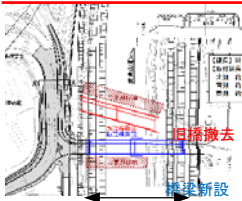
第4章 災害復旧事業の完成写真

第5章 貞山運河再生復興会議開催状況

第6章 再生・復興に向けた様々な取組

復旧・復興カレンダー

平成24年10月 橋梁復旧方針を決定(名取市)



貞山運河の復旧計画として拡幅・嵩上げの設計内容が示されたことから、橋梁の復旧方針として、被災した旧橋を撤去して橋梁を新設することとしました。

川幅拡幅

平成26年10月 閉上地区復興土地区画整理事業着工(名取市)



区画整理事業の着工式を行い、地盤嵩上げ工事を開始しました。

平成29年3月 北釜橋を架替(名取市)



仙台空港に接続する北釜橋の上部工架設が完了しました。

平成30年3月 岩沼市嵩上げ道路「玉浦希望ライン」全船開通(岩沼市)



多重防御の一環である嵩上げ道路整備事業が完了し、開通式が行われました。

平成31年3月 閉上貞山橋を新設(名取市)



沿岸部からの避難用道路として市道閉上小塚原線を整備し、閉上貞山橋を新設しました。

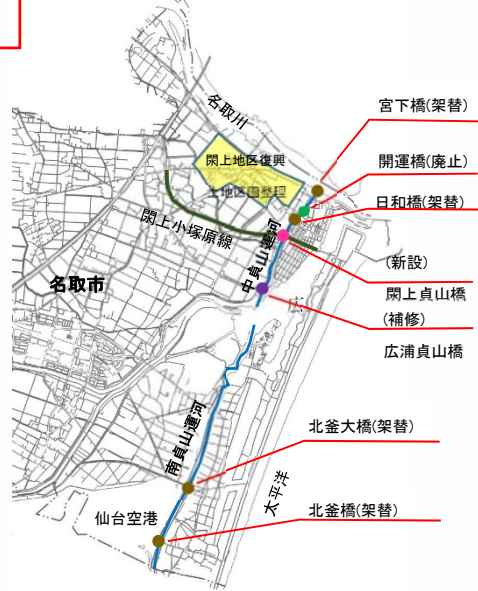
令和元年5月 閉上地区まちびらき(名取市)



閉上地区復興土地区画整理事業が概ね完成し、災害公営住宅、小中学校、公民館などの主要施設が整備されました。

平成23年10月 名取市震災復興計画策定(名取市)

津波により被災した沿岸部の基本計画となる復興計画を策定し、多重防御の構想を基本方針としました。



宮下橋(架替)

開運橋(廃止)

日和橋(架替)

(新設)

閉上貞山橋(補修)

広浦貞山橋

北釜大橋(架替)

北釜橋(架替)

平成29年7月

矢野目排水ポンプ場、二野倉排水ポンプ場開所(岩沼市)

地盤沈下による浸水被害軽減のため、玉浦地区で整備を進めてきた排水ポンプ場が完成しました。このポンプ場により、貞山運河へ強制排水を行います。



令和2年3月 名取市復興達成宣言(名取市)



令和2年3月30日に、震災からの復興を達成したことを宣言しました。

平成23年4月

平成24年4月

平成25年4月

平成26年4月

平成27年4月

平成28年4月

平成29年4月

平成30年4月

平成31年4月

令和2年4月

令和3年3月

新堀(仙台市)

復旧・復興カレンダー

平成26年3月 仙台ふるさとの杜再生プロジェクト
第1回植樹会(仙台市)

海岸公園

平成26年3月まで瓦礫搬入場として活用

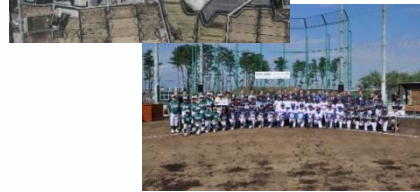
平成26年4月 公園復旧工事開始(仙台市)



平成28年10月 各地区の避難の丘完成
公園施設一部利用再開(仙台市)



野球場2面、
パークゴルフ場
9ホール



平成29年4月 公園施設一部利用再開(仙台市)

テニスコート10面、運動広場1面

平成29年7月 公園施設一部利用再開(仙台市)



野球場4面、
パークゴルフ場
14ホール

平成30年7月8日 海岸公園全面オープン(仙台市)



冒険広場、馬術場
利用再開

令和2年10月 仙台ふるさとの杜再生プロジェクト
第11回植樹会(のべ3,070名、23,500本植樹)



仙台ふるさとの杜再生プロジェクト:震災の津波により失われた東部地域一帯のみどりを震災後30年かけて植えて次代につないでいく復興メモリアル事業

平成23年
4月

平成24年
4月

平成25年
4月

平成26年
4月

平成27年
4月

平成28年
4月

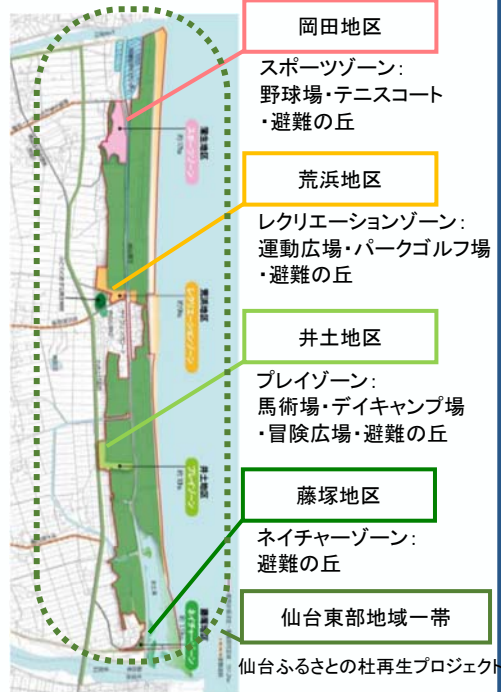
平成29年
4月

平成30年
4月

平成31年
4月

令和2年
4月

令和3年
3月



平成29年3月 東部沿岸部の集団移転跡地
利活用方針を公表

集団移転跡地において、将来にわたって仙台の新たな魅力や価値を創出する土地利用を目指すため、跡地利活用の基本理念や土地利用方針を策定し公表



平成30年3月 集団移転跡地利活用事業候補者決定
(第1次募集)

令和2年6月 集団移転跡地利活用事業による
ドッグランの開業

ドッグラン(南蒲生地区)
他にも、平成30年5月から、
4地区においてピオトープや農
園などの様々な事業が開始



令和3年3月 集団移転跡地利活用事業による
体験型観光果樹園の開業

体験型観光果樹園
(荒浜地区)



第1章
被災状況
東日本大震災の
被害状況

第2章
管理施設復旧工法
貞山運河の河川
管理施設復旧工法

第3章
10年の取組
復旧・復興

第4章
完成写真
災害復旧事業の
完成写真

第5章
会議開催状況
貞山運河再生復興
会議開催状況

第6章
様々な取組
再生・復興に向けた
様々な取組

御舟入堀(多賀城市, 塩竈市, 七ヶ浜町)

復旧・復興カレンダー

平成23年11月

歴史的風致維持向上計画(第1期)の策定(多賀城市)



東日本大震災からの復興まちづくりの礎となる「歴史的風致維持向上計画」を策定し、御舟入堀の復旧・復興について規定しました。

貞山運河に見る歴史的風致

米輸送のために開削された貞山運河では、今日でも物資輸送等に利用され、船が往来する風景が江戸時代以来続いています。また、明治期に始められていた燈籠流しが現在でも続けられており、数多くの燈籠が水面に浮かぶ姿は夏の終わりを告げる運河の恒例行事となっています。



令和2年3月

東日本大震災復興リアルモニュメント設置(七ヶ浜町)



本町で特に津波被害が甚大だった沿岸部が一望できる菖蒲田浜地区の「眺望崎」に、東日本大震災の津波被災と教訓を未来に伝え、復興事業完了を記念したメモリアルモニュメントを建立しました。制作にあたり、ガバメントクラウドファンディング(ふるさと納税)により全国から寄附金を募り、費用の一部としました。

平成23年4月

平成24年4月

平成25年4月

平成26年4月

平成27年4月

平成28年4月

平成29年4月

平成30年4月

平成31年4月

令和2年4月

令和3年3月

平成25年3月

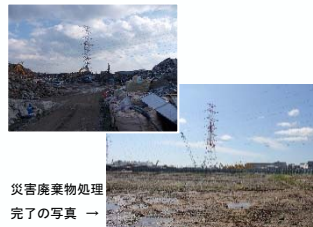
塩竈市東日本大震災モニュメント設置(塩竈市)

東日本大震災の記憶を後世に伝え、復興に向けたシンボルとして、千賀の浦緑地へ塩竈市東日本大震災モニュメント・上の太陽の塔を設置しました。



平成26年3月

災害廃棄物の処理・処分の完了(多賀城市)



東日本大震災により大量に発生した災害廃棄物は、家庭ごみの約20年分相当でしたが、平成26年3月に処分が完了しました。

令和元年7月

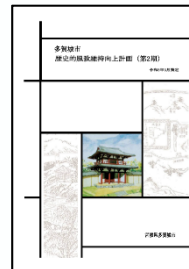
シオーモの小径復旧(塩竈市)

東日本大震災で甚大な被害を受けた塩竈市みなと広場内「シオーモの小径」が復旧しました。これは、明治以降に訪れた宮沢賢治をはじめとする近現代の文学者が残した言葉を刻んだ石碑を多く設置したものです。



令和3年3月

歴史的風致維持向上計画(第2期)の策定(多賀城市)



維持向上すべき歴史的風致として設定。運河開削以降の歴史や現代にも伝わる活動等を記載。

第1章 被災状況

第2章 貞山運河の河川管理施設復旧工法

第3章 10年の取組

第4章 災害復旧事業の完成写真

第5章 貞山運河再生復興会議開催状況

第6章 再生・復興に向けた様々な取組

東名運河(東松島市)

復旧・復興カレンダー

平成 23 年 12 月

東松島市 復興まちづくり計画の策定(東松島市)

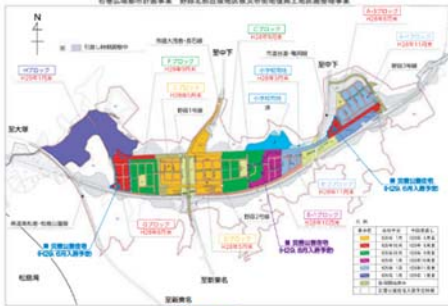
市民アンケート調査やパブリックコメント、復興まちづくり地区懇談会・有識者委員会など様々な意見を集約し、「復興まちづくり計画」を策定しました。



平成 28 年 ● 月

野蒜北部丘陵団地完成(東松島市)

造成面積が最大の「野蒜北部丘陵団地」で自立再建住宅用地や災害工営住宅用地の造成が完成しました。



平成 31 年 3 月

災害公営住宅の整備が全て完了(東松島市)



平成 23 年
4 月

平成 24 年
4 月

平成 25 年
4 月

平成 26 年
4 月

平成 27 年
4 月

平成 28 年
4 月

平成 29 年
4 月

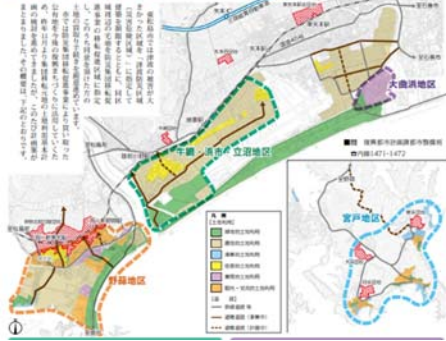
平成 30 年
4 月

平成 31 年
4 月

令和 2 年
4 月

令和 3 年
3 月

「集団移転元地の土地利用基本計画(案)」がまとまりました



平成 24 年 6 月

土地利用基本計画の策定(東松島市)

津波の被害が大きかった区域を「津波防災区域」に指定して建築を制限するとともに、同区域周辺の宅地を防災集団移転促進事業による移転を進めました。同事業により買い取った公用地を今後の復興まちづくりに活用していくため、平成 24 年 6 月に、「土地利用基本計画」を策定しました。



平成 31 年 2 月

避難道路、高盛土道路の完成(東松島市)

防災・減災による災害に強いまちづくりに向け、津波を減衰させる多重防御施設や、避難道路の整備が完了しました。

第1章 東日本大震災の被害状況

第2章 貞山運河の河川管理施設復旧工法

第3章 復旧・復興 10年の取組

第4章 災害復旧事業の完成写真

第5章 貞山運河再生復興会議開催状況

第6章 再生・復興に向けた様々な取組

北上運河(東松島市, 石巻市)

復旧・復興カレンダー

平成25年3月 「いのまき水辺の緑のpromenade計画」
一部見直し(石巻市)

石巻らしい水辺を創出したいという強い思いの中で「いのまき水辺の緑のpromenade計画」を平成23年2月に策定しましたが、同年3月11日に発生した東日本大震災を踏まえ、当初策定した計画の骨格を継承しつつ、利活用方策について見直しを図りました。



平成26年10月
大曲地区被災市街地復興土地地区画整理事業の事業計画を決定(東松島市)

本事業により道路等の整備や宅地の造成を行い、産業系への土地利用転換を進めることにより、震災からの早期復興を目指した計画を決定しました。



平成30年2月 石巻工業港運河線 北北上川運河
新橋の下部工事に着手(石巻市)

国道45号への右折渋滞の緩和のため、北北上運河を跨ぐ中浦橋を拡幅し右折レーンを設置しました。



令和元年9月 中浦橋を拡幅(石巻市)

国道45号への右折渋滞の緩和のため、北北上運河を跨ぐ中浦橋を拡幅し右折レーンを設置しました。



令和3年5月
水と緑と子どもたちの広場に四阿を整備(石巻市)

北北上川運河左岸部の「水と緑と子どもたちの広場」に県産木材を利用した四阿を整備しました。



平成23年
4月

平成24年
4月

平成25年
4月

平成26年
4月

平成27年
4月

平成28年
4月

平成29年
4月

平成30年
4月

平成31年
4月

令和2年
4月

令和3年
3月

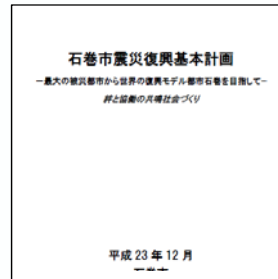
平成23年 夏 カヌー体験活動再開(石巻市)

地元のNPO団体「ひたかみ水の里」による子どもたちを対象にしたカヌー体験活動が再開し、年間10回ほどの頻度で現在も継続して実施しています。



平成23年12月
石巻市震災復興基本計画を策定(石巻市)

パブリックコメント、住民意見交換会、復興事業説明会を経て、「石巻市震災復興計画—最大の被災都市から世界の復興モデル都市石巻を目指して—絆と協働の共鳴社会づくり」を策定しました。



平成30年2月 都市計画道路 釜大街道線
上釜新橋の下部工事に着手(石巻市)



大街道地区の国道398号を補完し、災害時の避難路に位置付けた幹線道路であり、北北上運河には「上釜新橋」の新設工事を行いました。

平成31年●月
矢本海浜緑地パークゴルフ場の開園(東松島市)

矢本海浜緑地公園の再開に伴い、公園内にパークゴルフ場が開園しました。北上運河沿いにぎわいが戻りつつあります。



令和3年10月 蛇田新橋を架替(石巻市)

狭隘で老朽化していた橋が大震災で損傷が進んだことから架替をしました。



第1章 東日本大震災の被害状況

第2章 貞山運河の河川管理施設復旧工法

第3章 復旧・復興10年の取組

第4章 災害復旧事業の完成写真

第5章 貞山運河再生復興会議開催状況

第6章 再生・復興に向けた様々な取組

あんどん松の保存

宮城県では、松並木との一体的水辺空間の再生を目的として、木曳堀（阿武隈川水系五間堀川）での運河水際から生える「あんどん松」の維持・保全を行うとともに、堤防緑化や水際植生の回復を行いました。

沿川で行われる海岸防災林や農地の復旧整備、「千年希望の丘」の整備と連担し、地域のランドマークとなる沿岸地域の一体的な緑の水辺空間の再生を行いました。



写真3.1 あんどん松の景観(被災前)



図3.3 あんどん松保全区間平面図(航空写真)

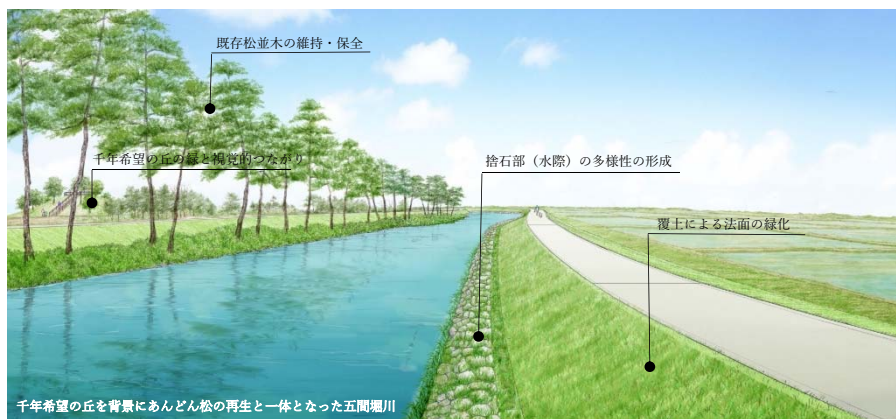
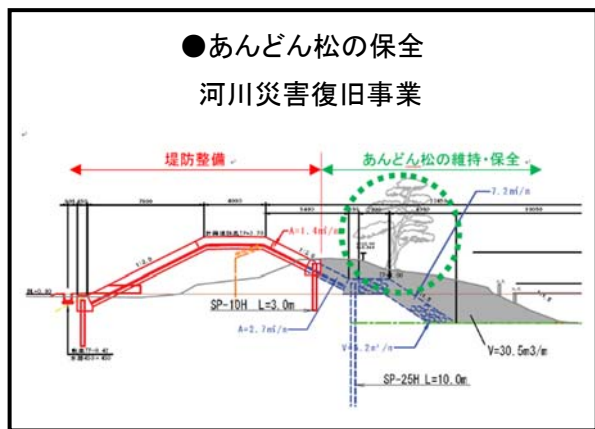


図3.4
整備イメージ

第1章
被災状況
東日本大震災の被災状況

第2章
管理施設復旧
貞山運河の河川管理施設復旧

第3章
10年の取組
復旧・復興

第4章
完成写真
災害復旧事業の完成写真

第5章
会議開催状況
貞山運河再生復興会議開催状況

第6章
様々な取組
再生・復興に向けた様々な取組